

社会実験の基礎データ

今回の社会実験では、和歌山市職員のご協力も得て、各会場での参加者数のカウントや通行量調査も実施しました。主な来場者データは以下の通りです。

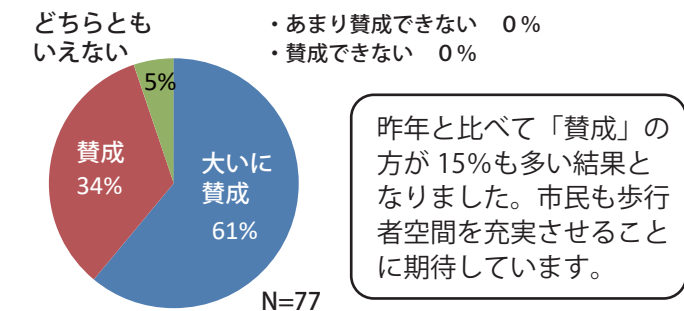
くすのき広場（市駅前通り歩行者天国）…3日間の総来場者数（推定）：約7,500人		
●9月30日（金）	●10月1日（土）	●10月2日（日）
・芝生エリア利用者数 ：26人 ※受付時間：13時～17時	・芝生エリア利用者数 ：381人 ※受付時間：11時～17時	・芝生エリア利用者数 ：597人 ※受付時間：11時～17時
・中間地点の歩行者通行量（総数） ：南進530人、北進1010人 ※計測時間：13時～21時	・中間地点の歩行者通行量（総数） ：南進1592人、北進1676人 ※計測時間：11時～21時	・中間地点の歩行者通行量（総数） ：南進1201人、北進1236人 ※計測時間：11時～17時
市堀川クルーズ …2日間の総利用者数：240人		
●10月1日（土）	●10月2日（日）	
・乗船者数：132人（※市駅前発13便、京橋前発14便）	・乗船者数：108人（※市駅前発・京橋前発各12便）	

アンケート結果

今回の社会実験では、芝生エリアおよび市堀川クルーズの利用者と、まちなみミュージアムの参加者を対象にアンケートを実施しました。

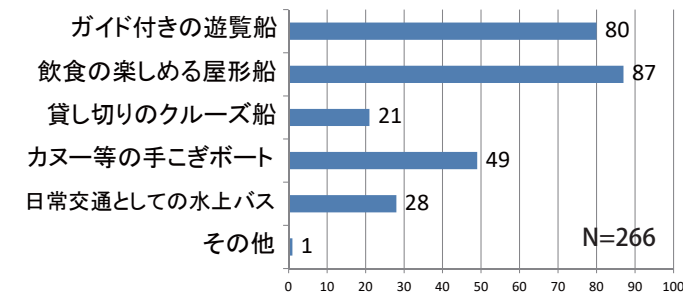
■芝生エリアについて

Q. 今後、市駅前通りを歩行者が楽しめる場所に変えていくことについてどう思いますか？



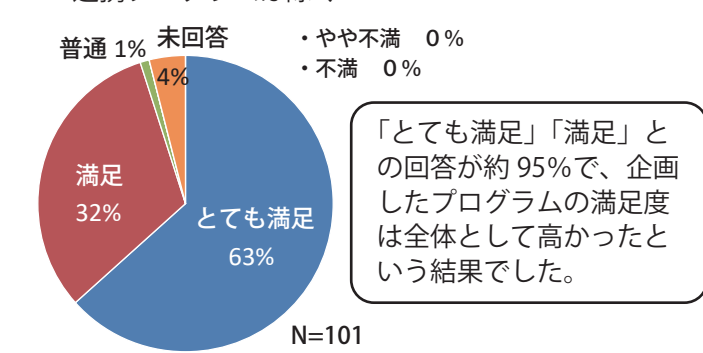
■市堀川クルーズについて

Q. 市堀川・内川で乗ってみたい船はどれですか？（複数回答）

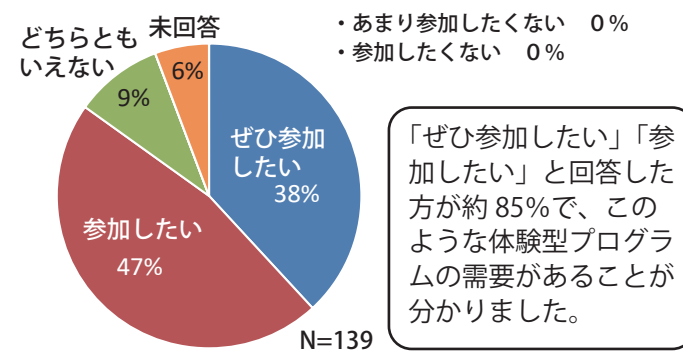


■市駅まちなみミュージアムについて

Q. 参加したプログラムの満足度はいかがですか？ ※連携プログラムは除く

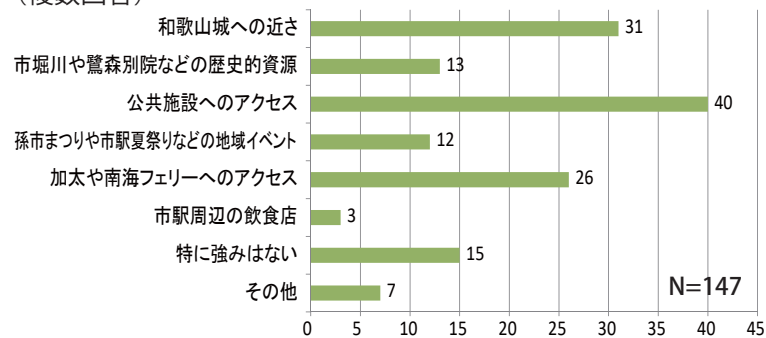


Q. 次回もこのような企画があれば参加したいですか？



■市駅の強みについて

Q. JR和歌山駅と比べて、南海和歌山市駅の強みは何ですか？（複数回答）



公共施設や和歌山城への近さ、加太や和歌山港へのアクセスなど、市駅の利点の活かし方が問われていると言えます。

編集後記

今年度も無事に社会実験を終え、本号で報告を行うことができました。新たな試みに四苦八苦しながらも、なんとか形にすることができました。これも皆さまのご協力があったからこそですので、改めて、関係者並びにご協力いただいた全ての皆さまに、心より御礼申し上げます。さて、2年続けて行ってきた社会実験ですが、これは単なるイベントではなく、和歌山市駅前を変えるための1つの手段であることを忘れてはいけません。市駅前を変えるのは今しかありません。これからは地元の力を結集して、まちづくりへと繋がるアクションを展開していきましょう。私たちも微力ながら、そのお手伝いができるように引き続き頑張りたいと思います。

永瀬研究室3回生 吉岡 香奈

市駅まちづくり通信 10

市駅“グリーングリーン”プロジェクト 2016

第10号 2016.11.30 発行：市駅まちづくり実行会議 編集：和歌山大学観光学部永瀬研究室

今年も地域内外の多くの方々の協力を得て「市駅“グリーングリーン”プロジェクト 2016 ～市駅前通りを緑と憩いの広場にする社会実験～」を実施しました。今年は「くすのき広場（市駅前通り歩行者天国）」（9月30日～10月2日）、「市堀川クルーズ」（10月1日・2日）に加え、新たに「市駅まちなみミュージアム」（9月15日～10月2日）も企画し、期間・内容ともに昨年よりもパワーアップして展開しました。本号の前半では、社会実験の各企画の報告を行い、後半では来場者データと当日実施したアンケート結果の一部をご紹介します。

芝生のピクニックエリア

社会実験のメイン企画である芝生のピクニックエリア。今年は天然芝と人工芝を組み合わせる面積を昨年の1.5倍に広げ、金・土・日の3日間、24時間開放しました。特に土日は晴天に恵まれ、ハンモックに寝転ぶ子供たちや、ピクニックシートに座ってお喋りする家族連れなど、多くの人々がゆったりと時間を過ごす姿が見られました。一角には木製ブロックによる「森の茶室」を設置し、土日の日中はカフェの営業も行われました。日曜日に芝生の上で行われたミニ音楽ライブも大好評で、音楽と緑のコラボレーションが実現しました。昨年に続いて来場された方も多く、市駅前通りでの「緑と憩い」の楽しみ方が、徐々に市民に浸透してきたのではないのでしょうか。



マーケットエリア / オープンカフェエリア

芝生エリアの両側では、地元商店街に加え、飲食や雑貨など和歌山市内外から多数の店舗が並びました。今年はキッチンカーによるオープンカフェ、アウトドア用品の展示、郵便局による切手販売、和歌山大学の地域活動からの出店、夜のビアガーデンなどの、新たなコンテンツも加わり、多くの人出で賑わいました。



市堀川クルーズ

今年は2隻の小型船を使用し、市駅前と京橋駐車場（まちなみ河岸会場前）の間で交互運航を行いました。同時開催イベントの「まちなみ河岸」との往来も多く、2日間（25.5往復）で計240人にご乗船いただきました。本格的に運航するためには、河川環境の改善など多くの課題がありますが、より多くの市民の協力と支援を得ながら、城下町の貴重な遺産であり、まちづくりの重要な資源である内川の水辺再生につなげていければと思います。



市駅「グリーングリーン」プロジェクト

～市駅前通りを緑と憩いの広場に作る社会実験～

SHI-EKI "GLEAN GREEN" PROJECT 2016



和歌山市駅前のあたらしいカタチ。どきどき、わくわく。

マーケットエリアA

9月30日 (金) 13時～21時

10月1日 (土) 11時～21時

10月2日 (日) 11時～17時

地元商店街の出店とともに、和歌山大学の学生たちが和歌山の美味しい食材を提供します。

マーケットエリアB

10月1日 (土) 11時～17時

10月2日 (日) 11時～17時

和歌山市周辺のこだわりのお店が大集合！美味しい食べ物や、センスあふれる雑貨などが並びます。

出店者一覧

- ・市駅前中央商栄会 ・日本郵便株式会社 (10/1,10/2)
- ・NPO 和歌浦湾海業 (10/1,10/2) ・日高町 LIP (10/2 のみ)
- ・広川町 LIP (10/2 のみ) ・紀美野町 LIP (10/2 のみ)
- ※LIP: 和歌山大学観光学部 地域インターンシップ・プログラム

くすのき広場ビアガーデン

◎9月30日 (金)・10月1日 (土) 18時～21時
夜の歩行者天国でビールと食事をお楽しみください。県内のクラブビール (平和クラフト、ナギサビール) もご用意しています。

出店者一覧

- ・加宝キッチン ・かき小屋フィーバー ・Pain Place Croûton
- ・メゾンフルール ・石窯ポポロ ・味処高山 ・和光堂
- ・フラワーショップかたおか ・KOKOHARE
- ・株式会社榎本林業 ・夏炉冬扇 (10/1 のみ)
- ・わかやま農業協同組合(10/1 のみ) ・Kockamacska(10/1 のみ)
- ・ミホズキッチン (10/2 のみ) ・きいる工房 (10/2 のみ)
- ・*Cookie&Muffin8739* (10/2 のみ)

くすのき広場

(市駅前通り歩行者天国)

9/30 (金) ~10/2 (日)

芝生のピクニックエリア

9月30日 (金) 13時～24時

10月1日 (土) 終日 (24時間開放)

10月2日 (日) 深夜0時～17時

ピクニックやお昼寝を楽しめる天然芝の広場が出現。飲食するもよし、のんびりとくつろぐのもよし。年齢を問わずお楽しみいただけます。土日はお茶会やミニ音楽イベントも開催します。

《芝生エリアの利用について》

無料で開放しますが、日中に利用される方は、受付で配布するアンケートにご協力ください。

森の茶室

◎10月1日 (土) 11時～16時

◎10月2日 (日) 11時～14時

木製ブロックで組み立てた「森の茶室」でお茶とお団子(おおや)を提供します。協力: 和歌山木材協同組合, Cafe WITH

音楽ステージ

◎10月2日 (日) 14時～16時

- ◎出演者
- ・廣畑ゆりか
- ・和歌山大学アカペラサークル和音-kazune-
- ・和・ケンミンズ
- ・和歌山大学ジャズ研究会 Uncle Jam

アウトドア用品体験・展示

◎10/2 (日) のみ

◎協力: ログスショップイオンモール和歌山店

オープンカフェエリア

10月1日 (土) 11時～17時

10月2日 (日) 11時～17時

芝生エリアに隣接して、キッチンカーやパラソル等が並ぶオープンカフェを設けます。青空の下で、飲み物や軽食をお楽しみいただけます。

出店者一覧

- ・NIINACAFE&小城ホットサンド
- ・ナガトヤ
- ・ロetteria JR和歌山駅前店
- ・ハシグチ洋菓子店 (10/2 のみ)
- ・福祉事業団作業所あかり (10/2 のみ)

市駅まちづくりギャラリー

9月30日 (金) 13時～19時

10月1日 (土) 11時～17時

10月2日 (日) 11時～17時

◎会場: 木下ビル1階

市駅前では2014年から始動したまちづくりの取り組みを発信するパネル展。社会実験に至るまでの経緯や、これまでの議論についてご紹介します。

市駅まちぐるみミュージアム

今年初めて試みた「市駅まちぐるみミュージアム」では、市駅周辺の地域資源の可能性を探るため、34の施設・店舗・団体の協力を得て、総数45のプログラムを企画しました。9月15日(木)～10月2日(日)の期間中、延べ1300人以上の方々にご参加いただくことができました。参加者へのアンケートからは、プログラムの満足度は全体的に高く、「普段できない体験ができて楽しかったです」「市内にこういうところがあったんだという新たな発見ができた」など



鷺森別院ライトアップ



上生菓子づくり体験

この企画は、地元の人々が身近なまちの資源を確認しあい、「まちぐるみ」で市駅周辺を持続的に盛り上げるための仕掛けになることも意図しています。実際に、協力店舗同士のつながりが生まれる例も見られました。市駅周辺のまちを、市民からも来訪者からも愛される場所に育てるためには、地域が一丸となった取り組みが不可欠です。準備・運営体制や広報、開催期間など、まだまだ改善すべき課題は多くありますが、今回の取り組みが、市駅周辺のまちづくりの輪を広げる一つのきっかけになればと思います。



市駅前の空き地を利用した社会実験のPRスクリーン

社会実験案内所・情報発信スクリーン

市駅の改札前では、まちぐるみミュージアムの期間全体を通じて「市駅と南海の歴史展」を開催するとともに、社会実験の案内所として位置づけ、パンフレット等を配布しました。さらに市駅前の空き地を利用して、9月24日(土)～10月1日(土)までの8日間、夕方から19時半頃まで社会実験のPR動画を映しました。信号待ちの間に振り返って映像を眺める方も多く、駅前における映像による宣伝の可能性を確認することもできました。

市駅GGP 2016 関係者・協力者一覧

- 主催: 市駅まちづくり実行会議 ●企画: 和歌山大学観光学部永瀬ゼミ ●協賛: 和歌山市, 浅川組・三友建設・宮井組JV, 田中裕之(株式会社テクノ・アシスト) ●協力: 市駅地区商店街連盟(市駅前中央商栄会, 市駅東商店街組合), 城北地区自治会(19区, 20区, 22区, 23区, 24区, 35区, 36区), 城北地区連合自治会, 雄湊地区連合自治会, 加田文彦, 孫市の会, 和歌山市立城北小学校育友会, 和歌山大学観光学部, 和歌山大学観光学部北村ゼミ(ポスターデザイン), 和歌山大学学生広報チームPRism, 島英雄(株式会社メガチューブ), 有限会社アルゴス, わかやま農業協同組合, 和歌山木材協同組合, 小堀酒店, Cafe WITH, ログスショップイオンモール和歌山店, 小城ルミ(グラスまちライブラリー) ●後援: 和歌山県, 和歌山市教育委員会, 和歌山商工会議所, 和歌山県観光連盟, 和歌山市観光協会, 南海電気鉄道株式会社, 和歌山バス株式会社

市駅まちぐるみミュージアム 協力者一覧

- 南海電鉄和歌山支社, 孫市の会, (有)出来助本店, 和歌山市立博物館, 和歌山市民図書館, 和歌山市立こども科学館, (株)をぐらや, 酒の道場花野酒店, なかいし洋品店, 南海薬品, ファミリーショップクイノセ, ペにや呉服店, ペにや着付教室, (株)家具ノ谷沢, タキガワメガネ, rogé, 水辺座, 渥美正道(中国語教室), liliputiense, 木下ビル, Benefit+plus, ホビーショップサンドウ, さんくらふと, piatto 城下町の八百屋さん, cafe nostalgia, JHCフジ, (株)総本家駿河屋駿河町本舗, 紀州の和菓子と文化を考える会, (株)世界一統, 本願寺鷺森別院, 和歌山大学生涯学習・地域連携センター, 和歌山大学観光学部 尾久土ゼミ・中串ゼミ・木川ゼミ (敬称略)



世界一統 酒蔵見学・試飲会



9/15 (木) ~10/2 (日)

市駅周辺の店舗・公共施設などで45のプログラムを企画。

の感想や、「和歌山市駅のまちおこしとしても大きな力になると思いました」といった声もあり、今後のまちづくりに向けた新たな一歩となりました。

一方、今回はホームページによる情報発信も行いましたが、告知期間が短く、「友人に教えてもらうまで、このような企画があることを知りませんでした」など、プロジェクト全体の宣伝不足を指摘する意見もありました。なかには参加者が得られなかったプログラムも生じるなど、初の試みであるがゆえの課題も浮かび上がりました。



和歌山うまいもん食堂



オリジナルトートバッグづくり